



山形大学 (山形県)



教育実践研究と授業協力を力を入れています。附属学校とも密に協力しています。

◇大学紹介

○大学の概要

山形大学は、山形県内に設置されている唯一の総合大学として、研究・教育の中心としての役割を果たしています。その教育理念は、総合大学としての特徴を活かし、自然科学、人文・社会科学が連携した専門教育と幅広い教養教育を行うとともに、地域社会に根ざし国内はもとより国際的にも活躍できる人材を育成します。また、優れた研究成果を生み出すことにより、「自然と人間との共生」という目標を実現し、社会に貢献することを目指します。

○国際交流の実績 (2017年10月1日現在)

- ・海外機関との交流協定数：41カ国・地域175機関
- ・過去3年間の留学生数

2017年：240人

2016年：225人

2015年：214人

・教員研修留学生受入実績

年度	国籍	専攻
2004	中国	学校教育
2005	フィリピン	物質生命科学
2006	エジプト	物質生命科学
2014	ペルー	造形芸術
2017	インド	造形芸術

◇教員研修コースの概要

○コースの特色

教育実践研究と授業研究に力を入れています。附属学校とも密に協力しています。

○受入定員

5人

○研修コースの概要

- ・日本語教育

山形大学基盤教育院にて、初級から中級までのレベルにあったクラスで日本語を学ぶことができます。また、中級修了と同等またはそれ以上の日本語力があれば、学部留学生等を対象とした上級コースが受講できます。

- ・専門教育

講義、演習、実験、実技等を通じて専攻領域の理解を深める研究を実施します。

- ・見学・地域交流等の参加型科目

- ・その他

留学生が見学実習や行事などに意欲的に参加できるように便宜を図っています。また、他機関主催の文化交流にも積極的に参加しています。日本の家庭へのホームステイ、日帰り旅行、地元の祭り(花笠祭り、ゆかた祭り等)を通じて、日本人々と知り合い、日本文化を体験することができます。

◇修了生へのフォローアップ

修了生と本学で指導に当たった教員たちとの間では、継続して密な連絡が取られています。

◇宿 舎

教員研修留学生は、山形大学国際交流会館に1年間入居することができます。ただし、入居希望者が多い場合は、入居できない場合があります。

○宿舎数

- ・単身室 33室
- ・夫婦室 2室
- ・家族室 4室

○宿舎費(1ヶ月)+共益費(1ヶ月)

- ・単身室 5,900円 + 共益費4,000円
- ・夫婦室 11,900円 + 共益費4,000円
- ・家族室 14,200円 + 共益費4,000円

○宿舎設備・備品

(単身室の場合)ベッド、机と椅子、エアコン、ガスFF暖房機、冷蔵庫、食器戸棚、本棚、ミニ・キッチン、シャワー、トイレ

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学から会館へは、徒歩で約20分程度です。商店街にも近く、生活には大変便利な場所です。

◇問合せ先

〒990-8560山形市小白川町1-4-12
 山形大学教育・学生支援部国際交流課国際交流室
 TEL:81-23-628-4017 FAX: +81-23-628-4491
 E-mail: rggokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
 (山形大学HP)
<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/>
 (地域教育文化研究科HP)
<http://www.e.yamagata-u.ac.jp/gsrec/>

